

# 海外教育実地研究（カナダ：トロント）の20年のあゆみ（1）

～より効果的な海外研修プログラム開発に向けて～

## The 20-year history of our overseas teaching practice in Toronto, Canada

権 藤 眞 織

Maori Gondo

**要旨：**1997年から実施されているカナダ：トロントにおける「海外教育実地研修」の20年の歩みを概観する。研修開始時期は、3週間以上の研修期間を設け、毎年実習校を新しく開拓したり、滞在地域も複数に及んだ。4年目からは、ELSなどの英語研修プログラムも加え、英語コミュニケーション力にも力点を置いたが、10年目以降は、実習カリキュラムの変更に伴い、研修期間が2週間となり、現地の学校での実習に重点を置いた研修内容に整理され、今日まで継続されている。現地の幼稚園や小学校で、実際にクラスに配属され、自ら企画立案した授業案を実践するという研修内容は、初回から継続して貫かれていた。教員養成におけるより効果的な海外研修の在り方を考察するため、本稿では、まず、20回の歴史を振り返り、実施状況を報告する。

**キーワード：**海外研修 教育実習 異文化交流体験

### I. はじめに

教育のグローバル化が進められて久しい。多くの大学が、独自の海外研修プログラムを開発し、実践している。国際学科だけでなく、医学・看護・農業や服飾系などさまざまな専門領域の学生たちが海外で学んでいる。教員養成系の大学でも、さまざまな取り組みがなされてきた。また、国内の教育においても、質の転換がなされ、文部科学省によりアクティブラーニングが推奨されている。初年次教育からさまざまな専門教育において、各大学でアクティブ・ラーニングによる教授・教育実践が取り組まれている。海外研修は、アクティブ・ラーニングの観点からも、豊かな教育プログラムであると言える。

本学では、「世界のキャンパスで学ぶ」をテーマに、過去20余年にわたって、さまざまな海外研修を企画・実践してきた。まず、語学研修ではイギリスで1990年代から実施しており、現在

では、8カ国、約15種類の海外研修を実施している。どこの大学でも同様であると思うが、教員が海外を視察したり、留学した際に、先方の大学、教育機関と関係を築き、大学や教育機関と提携を結び、実際にカリキュラムとして運用される。

本稿では、本学で継続されてきた「海外教育実地研究」での取り組みを振り返り、より効果的な教員養成における海外研修プログラムの在り方を考察する。本論では、その第一弾として、「海外教育実地研究」の実績を報告する。

### II. カナダ研修の背景

本研修は、この研修の立案者である本学教員の山根耕平氏（現理事長）が、在外研究員として、1992年から1993年にカナダのトロント大学 OISE（Ontario Institute for Studies in Education：トロント大学教育系大学院）に留学したことが発端となった。トロント大学のクライブ・ベック先

生やジャック・ミラー先生との出会い、現地の幼稚園や小学校を多数紹介いただき、カナダの教育に触れ、感銘を受けたことから実現した、とのお話を伺ったことがある。そして、両先生方にご尽力もいただきながら、研修プログラムが出来上がった。

### III. 研修の目的と内容

第一回の研修が実施された1990年代後半では、日本の教育、学校の国際化が進み、日本の義務教育・公教育においても、多くの文化的背景や人種の異なる子どもたちの数が増え、小学校においても英語の導入が決定された。現在では、幼稚園・保育所・子ども園でも英語教育を導入している園も少なくない。これからの教員養成教育では、広い視野と国際感覚をもった教員の養成が求められる。研修の目的は、①多文化国家であるカナダ

の教育の実際に触れる。②現地の学校で実際に子どもたちと触れ合い、授業でプレゼンテーションを行う。という教育的な観点と、③カナダでの生活や雄大な自然を体験する、異文化交流の観点がある。

教育的観点では、トロントの公立小学校と私立小学校の異なるタイプの学校で実習を体験し、また、シュタイナー学校も訪問する。特に、特徴的な観点は、各学校での4日間（月曜日から木曜日）の実習期間中、現地の学校の授業を参観するだけでなく、実習生として、クラスに配属され、日本で行う実習のように体験することである。そして、実習後半では、いわゆる教壇実習のように、自分たちの考えた教育プログラム実践を英語で行う。研修の前半と後半で、異なる教育理念や方針の学校を訪問するため、プレゼンテーションを2回、経験する。

Table.1 カナダ研修の内容と行程の一例

行程	内容
1日目	到着 チェックイン・夕食 フードコート経路確認・外食経験
2日目	ナイアガラの滝 自然体験
3日目	自由行動 トロント市内散策：交通経路確認
4日目	公立学校での教育実習 クラス配属・参加観察
5日目	公立学校での教育実習 校長講話：クラス参観・振り返り
6日目	公立学校での教育実習 プレゼンテーション実習
7日目	公立学校での教育実習 お別れ会 歌やダンスの披露
8日目	プリンスエドワード島 トロントから移動
9日目	プリンスエドワード島 自然・文化体験
10日目	プリンスエドワード島 プリンスエドワード島から移動
11日目	私立学校での教育実習 クラス配属・参加観察
12日目	私立学校での教育実習 校長講話：クラス参観・振り返り
13日目	私立学校での教育実習 プレゼンテーション実習
14日目	私立学校での教育実習 午後：シュタイナー学校参観 お別れ会 歌やダンスの披露 学校見学・交流会
15日目	出発 機内泊
16日目	帰国

自然・文化体験では、トロント市街のホテルに滞在し、現地の大学生のように、実習校に電車通学をし、放課後、ESL やプレゼンテーションの準備を行う。また、教授のお宅を訪問させていただいたり、美術館や博物館、ミュージカルやサーカスの鑑賞も体験する。自然体験では、ナイアガラの滝の観光やプリンスエドワード島に滞在する。

IV. 今までの実績

本研修は、1997年に第1回目が実施され、以来、2018年までに20回継続してきた。

研修の内容の変遷により、初期、中期、後期の三期にわけてまとめた。

(1)初期：1997年から 1999年

研修が初めて実施されたこの時期では、研修期

間が最大24日間と、比較的長期にわたる研修であった。研修期間中、約6校もの学校を訪問している。研修期間も約3週間と長期にわたり、実習校も訪問地も多い。グループごとに、訪問校が異なったり、観光地も3班に分かれるなど、柔軟性のある研修プログラムとなっていた。特に、初回の研修では、トロントだけでなく、オタワ、モントリオール、ケベックなど、カナダの主要な都市を多数訪問する研修であった。2回目・3回目では、トロント地区を拠点に、6校もの実習校のご協力を得て研修を実施している。加えて、トロント大学も訪問し、現地の大学生との交流も行われていた。

(2)中期：2000年から 2007年

この時期では、一実習校あたりの実習期間が、

Table.2 カナダ研修 第1回から第3回

回数	初期		
	第1回	第2回	第3回
年度	1997年	1998年	1999年
対象	-	-	-
参加者	20名 (4年：19名、M1：1名)	24名 (3年10名 4年13名 M1 1名)	20名 (3年18名 4年2名)
引率	2名	2名	2名
研修期間	9月19日～10月7日 (20日間)	9月18日～10月9日 (22日間)	9月17日～10月8日 (24日間)
研修内容	現地学校実習・訪問 トロント大学：大学生と交流 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 トロント大学：大学生と交流 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 トロント大学：大学生と交流 地域研修・観光
実習校	聖トーマス・アクイナス・スクール：4日間 ウォルドルフスクール：1日間 トロント日本語学校訪問：半日間 ステラマリスクール：1日間 クリッチトン・オータナティブスクール：半日間 チャールズハルス公立学校：半日間	サミュエル・ハース・シニア学校/J・G・ワークマン学校：4日間 ウィルキンソン学校/ロード・ダッフアリン学校：4日間 シュタイナー学校：1日間 デューイ学校：1日間	ジョージ・サイム・パブリック・スクール/ヒューロン・ストリート・パブリック・スクール：4日間 キング・エドワード・パブリック・スクール/チェスター・パブリック・スクール：4日間 シュタイナー学校/デューイ実験学校：1日間 ずつ2日
訪問地	トロント オタワ モントリオール ケベック	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島
事前事後学習	13回 研修の概要 カナダの教育事情とシステム(ミラー先生) シュタイナー教育(ミラー先生) 日本文化紹介・準備 英会話	7回 海外教育実地研究の概要 カナダの教育事情 シュタイナー・デューイ教育講座 折り紙講座 絵本教材研究 実習報告・ビデオ放送	9回 カナダの教育事情 ホリスティック教育 実習校説明 実習準備・教材研究 折り紙や歌 報告・発表・反省会
単位認定	3単位	3単位	3単位

4日間ということが確定されてきた。また、第4回から第7回までは、実習体験の前に、ESLプログラムが実施されている。ELSプログラムが3-4日間行われており、このESL体験により、英語に慣れ、より充実した教育実習を行えるようプログラムされている。英語でのコミュニケーション力が求められる研修であることから、ESLプログラムが現地での導入プログラムとして実施されていた。しかし、第8回目から、研修期間が若干短縮されたため、ESLは実施されていない。

### (3)確立期：2008年から2018年

この確立期では、幼稚園教員免許や保育士、小学校教員免許取得のための夏季休業中の実習の実施時期の変化により、研修期間が2週間となった。また、

養成カリキュラム履修学年との兼ね合いもあり、2年生の参加も増えてきた。現地での実習も、前半に公立学校で4日間、後半に私立学校で4日間、加えて、私立校（シュタイナー学校）での半日の訪問というスタイルが確立された。

自然・文化体験としてのプリンスエドワード島の訪問が、研修の中間の時期に実施される形式も確立された。

## V. まとめ

今回は、研修の実施状況を概観したが、20年の経過の中で、少しずつ研修内容が変更・修正されて来たことがわかった。1997年の実施以来、参加学生の人数は変動があるものの、継続して実施し、合計312名の学生がカナダの教育について直接体

Table.3 カナダ研修 第4回から第9回

回数	中期					
	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
年度	2000年	2002年	2004年	2005年	2006年	2007年
対象	-		2~4年	3年以上	3年以上	2年以上
参加者	16名 (3年16名)	19名	12名 (3年6名 4年5名)	19名 (3年4名 4年7名 M1 2名 M2 1名)	17名 (3年14名 4年3名)	18名 (3年18名)
引率	2名	2名	1名	2名	2名	2名
研修期間	9月15日~10月8日 (22日間)	-	9月19日~10月10日 (22日間)	9月18日~10月9日 (22日間)	9月13日~10月1日 (19日間)	9月15日~9月30日 (16日間)
研修内容	ELSプログラム：4日間 現地教育実習 地域研修・観光		ELSプログラム：3日間 現地教育実習 地域研修・観光	ELSプログラム：3日間 現地教育実習 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光
実習校	チェスターパブリック スクール：4日間 JICSトロント大学付属小 学校：4日間		インディアン・ロード・ スクール：4日間 JICSトロント大学付属小 学校：4日間	バルマーston公立小学 校：4日間 JICSトロント大学付属小 学校：4日間 シュタイナー学校：1日 間	バルマーston公立小学 校：4日間 JICSトロント大学付属小 学校：4日間 シュタイナー学校：1日 間	イズリントン公立学校： 4日間 JICSトロント大学付属小 学校：4日間 シュタイナー学校：半日 間
訪問地	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島		トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント アルゴンキン公園 ナイアガラの滝
事前事後学習	11回 カナダ・カナダの教育 実習校について 実習準備・教材研究 折り紙や歌 報告会 反省会		10回 カナダという国 カナダの教育事情 児童英語講習 実習準備・教材研究 デュイ・シュタイナー の教育思想 折り紙や歌 Hughes先生・Miller先 生講演 反省会	12回 カナダという国 児童英語講習 実習準備・教材研究 デュイ・シュタイナー の教育思想 折り紙や歌 Hughes先生・Miller先 生講演 反省会	15回 カナダという国 児童英語講習 実習準備・教材研究 デュイ・シュタイナー の教育思想 折り紙や歌 ワークショップ：Miller 先生 小学校国際フォーラム聴 講 反省会	15回 カナダという国 児童英語講習 実習準備・教材研究 折り紙や歌 ワークショップ：Miller 先生 反省会
単位認定	3単位	3単位	3単位	3単位	3単位	3単位

験を通して学ぶことができた（アメリカ同時テロ、インフルエンザや covid19 などの影響でやむなく中止の年度もあった）。引率の教員ものべ37名が学生と共に学ぶことができた（教員は2年連続担当し、リーダーとサブリーダーの2名で、2年間連続して引率を担当した。初年度はサブリーダーとして研修の全体像を経験しながら把握し、次年度は主担当として事前学習から引率・事後学習の業務にあたった。）。

この研修の最も特筆すべきプログラムは、現地の学校のクラスに配属していただき、いわゆる“実習生”として、カナダの教育を直接肌で触れ、クラス担任の先生方と子どもたちの営みを直接体験

できることだ。第8回（2006年）以降は、研修の前半と後半に、実習校を1校ずつ訪問するスタイルが確立し、さらに、公立学校はイズリントン公立学校、私立校は、JICS トロント大学附属学校（旧：デューイ実験校）が、長年実習を受け入れてくれた。研修の骨子となる、現地の学校での実習については、研修の初回から貫かれているが、現地の実習校やスタッフとの信頼関係がより深く形成されるにつれ、より安定した形で実施できるようになった。

今回は、実施状況の報告にとどめるが、今後、引き続き、研修の報告書を分析し、学生たちの言葉から、学びの成果を掘り下げ、海外研修の効果

Table.4 カナダ研修 第10回から第14回

回数	後期				
	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
年度	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
対象	2年以上	2年以上	2年以上	2年以上	2年以上
参加者	18名 (2年1名 3年17名)		13名 (2年8名 3年5名)	16名 (2年9名 3年3名 4年4名)	13名 (2年11名 3年2名)
引率	2名	2名	2名	2名	2名
研修期間	9月12日～9月27日 (16日間)	9月11日～9月25日 (16日間)	9月11日～9月25日 (16日間)	9月9日～9月24日 (16日間)	9月7日～9月22日 (16日間)
研修内容	現地学校実習・訪問 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光
実習校	イズリントン公立学校：4日間 JICSトロント大学附属 小学校：4日間 シュタイナー学校：半日	イズリントン公立学校：4日間 JICSトロント大学附属 小学校：4日間 シュタイナー学校：半日	イズリントン公立学校：4日間 JICSトロント大学附属 小学校：4日間 シュタイナー学校：半日	イズリントン公立学校：4日間 JICSトロント大学附属 小学校：4日間 シュタイナー学校：半日	イズリントン公立学校：4日間 JICSトロント大学附属 小学校：4日間 シュタイナー学校：半日
訪問地	トロント アルゴンキン公園 ナイアガラの滝	トロント アルゴンキン公園 ナイアガラの滝	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島
事前事後学習	15回 多文化国家カナダ カナダの教育 児童英語講習 実習準備・教材研究 パフォーマンス準備 特別講義：Susan先生・ Kamino先生・Miller先 生 反省会		15回 多文化国家カナダ カナダの教育 児童英語講習 実習準備・教材研究 パフォーマンス準備 特別講義 反省会	15回 多文化国家カナダ カナダの教育 児童英語講習 実習準備・教材研究 パフォーマンス準備 特別講義 反省会	15回 多文化国家カナダ カナダの教育 児童英語講習 実習準備・教材研究 パフォーマンス準備 特別講義 反省会
単位認定	3単位	3単位	3単位	3単位	3単位

を検証していきたい。研修参加者数を見ると明らかであるが、本海外研修には、研修の内容からみても多くの学生が参加することは困難である。筆者は実際に、引率を4回経験したが、報告書に盛り込めないような多くの事柄——細やかな気遣いや配慮、有形無形のサポートにホスピタリティ、学生たちの人間関係や内面での大きな変化、価値観やものの見方、捉え方の拡大——など、学びの成果を、研修に参加していない学生にもシェアしていけるような教材やプログラムの開発に役立てたい。

最後に、この海外教育実地研究（カナダ：トロント）の充実した学びのプログラムは、カナダの

先生方のご協力なしには実現しえない。また、先生方同様、カナダと日本の架け橋として、通訳の域を超えて、学生ならびに我々スタッフにも様々な支援をしてくださった現地スタッフの方にも、この紙面を借りて深く感謝申し上げたい。日本の大学では、9月はちょうど夏休みに当たるが、カナダでは、まさに9月から新学期が始まる。そのような時期に、英語でのコミュニケーションも十分な学生たちを受け入れ、さらに、教壇実習（＝プレゼンテーション）の時間と、その振り返りの時間をくださったこと、何よりも温かな思いやりとホスピタリティにあふれた交流をしてくださったことに、心よりお礼申し上げる。

Table.5 カナダ研修 第15回から第20回

回数	確立期 後半					
	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
年度	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
対象	2年以上	2年以上	2年以上	2年以上	2年以上	2年以上
参加者	19名 (2年17名 3年1名 Jr.2年1名)	5名 (2年5名)	12名 (2年11名 3年1名)	21名 (2年19名 3年2名)	19名 (2年9名 3年5名 Jr.3年2名)	7名 (2年)
引率	2名	1名	2名	2名	2名	1名
研修期間	9月6日～9月21日 (16日間)	9月5日～9月20日 (16日間)	9月4日～9月19日 (16日間)	9月9日～9月24日 (16日間)	9月8日～9月23日 (16日間)	9月7日～9月22日 (16日間)
研修内容	現地学校実習・訪問 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光	現地学校実習・訪問 地域研修・観光
実習校	イズリントン公立学校：4日間 JICSトロント大学付属小学校：4日間 シュタイナー学校：半日	イズリントン公立学校：4日間 JICSトロント大学付属小学校：4日間 シュタイナー学校：半日	イズリントン公立学校：4日間 JICSトロント大学付属小学校：4日間 シュタイナー学校：半日	イズリントン公立学校：4日間 JICSトロント大学付属小学校：4日間 シュタイナー学校：半日	ウィルキンソン公立学校：4日間 JICSトロント大学付属小学校：4日間 シュタイナー学校：半日	ウィルキンソン公立学校：4日間 JICSトロント大学付属小学校：4日間 シュタイナー学校：半日
訪問地	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島	トロント ナイアガラの滝 プリンスエドワード島
事前事後学習	15回 多文化国家カナダ カナダの教育 児童英語講習 実習準備・教材研究 パフォーマンス準備 特別講義 反省会	21回 自己紹介、日常英会話教室 授業プレゼン準備 パフォーマンス準備 カナダの教育 シュタイナー教育 多文化国家カナダ 研修直前児童 実地研究事後指導	21回 自己紹介、日常英会話教室 授業プレゼン準備 パフォーマンス準備 カナダの教育 シュタイナー教育 多文化国家カナダ 研修直前児童 実地研究事後指導	23回 自己紹介 昨年度のDVD視聴、参加者の話 授業プレゼン準備 パフォーマンス準備 カナダの教育 多文化国家カナダ 研修直前指導・健康 チェック 実地研究事後指導	15回 研修の目的・行程の確認 Kamino先生による英語 活動 過去の映像視聴・グループ編成 危機管理セミナー 児童英語講習 実習準備・教材研究 パフォーマンス準備 振り返り・反省会	15回 研修の抱負と課題・行程の確認 カナダの国と文化と教育、伝えたい日本文化と日本の教育 特別講義：桜井みどり氏・Morley先生 過去の映像視聴・グループ編成 危機管理セミナー 児童英語講習 実習準備・教材研究 パフォーマンス準備 振り返り・反省会
単位認定	3単位	3単位	3単位	3単位	3単位	3単位

## 参考文献

- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「1997年度 海外研修報告集」 1998
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「1998年度 海外研修報告集」 1999
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「1999年度 海外研修報告集」 2000
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2000年度 海外研修報告集」 2001
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2003年度 海外研修報告集」 2004
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2004年度 海外研修報告集」 2005
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2005年度 海外研修報告集」 2006
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2006年度 海外研修報告集」 2007
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2007年度 海外研修報告集」 2008
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2008年度 海外研修報告集」 2009
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2009年度 海外研修報告集」 2010
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2010年度 海外研修報告集」 2011
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2011年度 海外研修報告集」 2012
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2012年度 海外研修報告集」 2013
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2013年度 海外研修報告集」 2014
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2014年度 海外研修報告集」 2015
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2015年度 海外研修報告集」 2016
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2016年度 海外研修報告集」 2017
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2017年度 海外研修報告集」 2018
- 神戸親和女子大学国際交流委員会 「2018年度 海外研修報告集」 2019
- 神戸親和女子大学児童教育学会 「教育のひろば」 第9号 1996
- 神戸親和女子大学児童教育学会 「教育のひろば」 第10号 1997